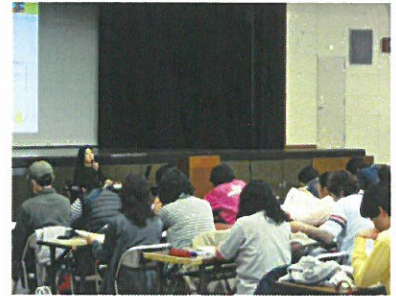


介護予防ケアプラン勉強会を開催しました！

5月11日（土）、5月14日（火）東住吉区の4地域包括（東住吉区、東住吉北、中野、矢田）の主催で、介護予防プランの勉強会を開催しました。社団法人 大阪介護支援専門員協会研修センター部長 福田 弘子先生を講師にお招きし、2日間で270名のCMが参加してくださいました。

① 介護予防支援事業の導入及び目指すところについて

国の指針等を提示いただきながら制度趣旨などをわかりやすく解説いただいた。介護予防支援事業は、本人が望まれる生活がおくれるように、本人が目標を決めて、達成への道程を支えて行くこと。新たな課題があれば再度アセスメントを行い、新たなプラン作成へ、プランの必要性が無ければ、インフォーマル等の支援利用へシフトさせるなど、サービスの見直しを行っていくこと。



② ケアプラン作成の概要

利用者と一緒に作り上げていくのが介護予防プランである。そのためには、



本人の意向をはじめ、生活状態や心身状態を含めた多面的なアセスメントを行うことが重要である。利用者基本情報、基本チェックリストがアセスメントを行う上での重要なツールとして生きてくる。アセスメント領域から課題を分析し、利用者及び家族の意向を把握し、具体的な目標や支援計画を立てて行くことになる。支援計画は、専門家の提案とそれを利用者にて合意形成を行っていくためのもの。

本人の可能性を引き出し、達成できる支援を行うために

は、本人と話し合い、聞き取り、ケアマネが総合判断して、計画を作成することになる。そのためには本人と何度も話し合いが必要である。

参加されたケアマネさんたちからも、具体的な内容でよくわかった、これからのプラン作成の参考になる、改めてプランを考える機会になりましたなどの感想をいただきました。



今回のようなケアプランを勉強する機会が少なかったもので、ケアマネさんにとっても、地域包括にとっても、介護予防ケアプランの根幹となる部分を詳しく解説いただけたことが、今後の介護予防ケアプランを作成するうえで、理解を深めていく一助になったと思われます。